

令和5年3月定例会補正予算等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、**①**コロナ禍の物価高騰・感染症対策をさらに推し進めるほか、国の経済対策を有効に活用し、**②**防災・減災対策の推進をはじめ、**③**教育環境の充実や**④**地域経済の活性化などにも取り組む。また、本市の発展に必要な事業の財源確保に努める。

① コロナ禍の物価高騰・感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、入院医療費の公費負担やPCR検査、自宅療養者への薬剤配送等に必要な経費を追加補正するほか、物価高騰や感染症の影響を受けた中小企業等の資金繰りを支援するための新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金に積立を行う。また、資材価格や電気料金等の高騰に伴い、既に設定している継続費や債務負担行為を変更する。

② 防災・減災対策の推進

生活道路の拡幅やバリアフリーに配慮した歩道整備など安全・安心な交通を確保するとともに、松山外環状道路（インター東線）整備のための用地取得等を進める。また、円滑な公共事業の実施や災害復旧時の基礎資料等に活用するための地籍調査や、大規模な盛土造成地の安全性を把握するための調査を行う。さらに、災害を未然に防ぐため、ため池を改修するほか、県が本市の街路等の強靱化を進める事業費の一部を負担し、防災・減災対策を推し進める。

③ 教育環境の充実

子どもの安全・安心な教育環境を確保するため、長寿命化計画に基づき市立の小学校5校と幼稚園1園で、老朽化対策やバリアフリー改修等を進める。

④ 地域経済の活性化

新たな投資や雇用等を行った指定企業に企業立地促進奨励金を交付する。

そのほか、国の報酬改定に基づき、障害福祉サービス事業所等の福祉・介護職員のベースアップなどの支援に必要な経費を追加補正し、処遇改善につなげる。

また、クラウドファンディングで受け付けた寄附金や、将来の公共施設の更新などに必要な費用を基金に積み立てるほか、令和4年度事業の繰越明許費補正を行う。

2. 主な事業（国の経済対策関連事業は、事業名の先頭に●印）

（単位：千円）

① コロナ禍の物価高騰・感染症対策

(1) 感染症対策事業	639,764
(2) 新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金積立事業	116,120
・ 物価高騰等に伴う素鷲公民館長寿命化改良事業の継続費補正	
・ 電気料金等の高騰に伴う指定管理者制度導入施設の債務負担行為補正	

② 防災・減災対策の推進

(1) ●生活道路整備事業	198,200
(2) ●安全歩行空間整備事業（補助）	31,760
(3) ●街路・幹線道路整備事業（補助）	85,000
(4) ●地籍調査事業	149,600
(5) ●宅地耐震化推進事業（大規模盛土造成地）	20,000
(6) ●ため池等整備事業	31,000
(7) ●愛媛県土木建設負担金（街路）事業	2,023
(8) ●県営事業地元負担金事業	51,000

③ 教育環境の充実

(1) ●小学校施設マネジメント事業	889,529
(2) ●幼稚園施設マネジメント事業	56,915

④ 地域経済の活性化

(1) 松山市企業立地促進奨励金事業	250,913
・ 福祉・介護職員のベースアップなどの支援（障害福祉サービス事業）	140,000
・ 基金積立（動物愛護基金積立事業）	17,787

3. 補正予算の総額

（単位：千円）

区分	3月補正額	累計	対前年同期伸率
一般会計	4,295,428	225,665,710	△ 8.46 %
特別会計	598,042	145,435,143	1.15 %
企業会計	-	48,822,800	2.38 %
計	4,893,470	419,923,653	△ 4.13 %
公債管理特別会計	-	17,853,700	
合計	4,893,470	437,777,353	